

連合胆江 NEWS

連合岩手胆江地域協議会
発行責任者 高橋清明
発行日 2021年4月12日

第92回メーデー胆江地区集会は開催できなくても

4月7日（水）に開催した「第2回幹事会・第1回メーデー実行委員会」で協議した結果、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「第92回メーデー胆江地区集会」の開催を断念することになりました。

しかし、メーデー集会をただの中止で終わらせないために、連合胆江では、次の取り組みを行います。

1. 街宣車を使って、メーデーの意義を伝える運動に取り組みます。
2. メーデーについて、ホームページや印刷物をもとに構成組織に発信していきます。



〈 4月7日 連合胆江 幹事会の様子 〉

1000人規模で開催された胆江地区メーデー(2016年)

今号では、メーデーの歴史にふれてみます

1886年5月1日、アメリカの労働者が「8時間は労働に、8時間は眠りに、8時間はわれらの自由に！！」をスローガンにかかげ、ゼネラルストライキ（全国的な規模で行われる労働争議）に入りました。35万人もの労働者が集結。その中で、武装警官が労働者を襲い殺害する事件が起きました。

1890年5月1日、このような弾圧にも屈しないアメリカ労働者の闘いを記念し、全世界の労働者が連帯し「8時間労働制」を要求して、ストとデモに総決起しました。これが第1回国際メーデーの記念日になりました。

1920年5月2日、日本では、第1回メーデーが東京・上野公園で開かれました。「8時間労働制」「最低賃金制」「治安維持法廃止」の実現を掲げて、労働者5,000人がデモ行進したのが始まりです。しかし治安維持法の下で労働運動は弾圧され、日本は次第に戦争への道に進んでいき、メーデーも禁止されてしまいます。

1946年、終戦の翌年、第17回メーデーから復活。「低賃金と長時間労働からの解放」を合言葉に“人民広場”とよばれた皇居前広場に約50万人が集まりました。

現在、連合は、毎年、私たち働く者たちの祭典「メーデー中央大会」を開催しています。近年の会場となっている東京・代々木公園には、組合員をはじめ、およそ40,000～50,000名の仲間が結集し、中央式典や各種イベントに参加しています。

胆江地区集会は、毎年5月1日、Zホールを中心に、「すべての労働者の地位・労働条件の向上」「東日本大震災の復旧・復興支援」を始めとした方針をかかげて、約1000人規模で開催を続けてきています。

